

理事会広報

2005.12月

No. 14

若葉台第一住宅
管理組合理事会

2005年度計画修繕工事の塗装工事について

本年も残り少なくなりましたが、9月から始まった2005年度計画修繕工事は現在ほぼ当初の予定通りのペースで進んでいます。

その工事の中での鉄部と階段室の壁と天井の塗装についての参考事項をお知らせします。

1. 鉄部塗装について

現塗膜の弱い所は撤去、強い所は残して新たな塗装を行いますが、現塗膜を撤去した所と残した所の境目に塗膜の厚さ分の凸凹感（段差）が発生します。

この段差を少なくするために、塗装下地の作業を行いますが、修繕工事は費用対効果を勘案して設計し、施工しますので完全に段差を解消することは困難です。

そのため、新しく塗装を行っても見る角度や光線の都合で凹凸が目につくことがありますが、上記事情によることをご理解願います。

2. 階段室の塗装について

ここも鉄部と同様の理由で新しく塗装を行った所で凹凸が目につくことがありますが、こちらもご理解願います。

また、新たな塗装は現塗装とは違った塗料を使います。
新塗料は健康に影響を与える「シックハウス」対策として無機質の「シリカ系塗料」を下地・中塗り・上塗りの3回とも使います。

この塗料は塗装面が硬く、細かいザラツキがあり、現塗装と多少違った仕上がりとなります。

以上、簡単に塗装についてお知らせしますので、仕上がりにつきましてご理解いただきますようお願いいたします。